

最初は遊びのつもりでした。遊びで作った高さ3寸ほどの投手の人形は江戸期の嵯峨人形の真似事で、しかしその後、その遊びが非常に多くのことを私に教えてくれました。

人形の本質、それは、祈りです。

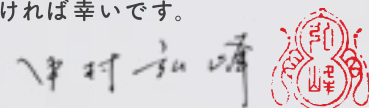
人がヒトガタを作るのは祈ることの別の表現法ではないかなと思います。

以来私は、江戸期の技法で現代のスポーツ選手の人形を作ることに夢になりました。

そして、その作品たちを今回初めてMVP (MOST VALUABLE PRAYERS)と名付け、

シリーズとしてお披露目させていただきます。

凛とした人形たちのスーパープレイの数々をご高覧いただければ幸いです。



#### 略歴

1986 福岡県生まれ

2009 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業

2011 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

#### 個展

2014 人形師 中村弘峰展「ササノオ〜神々の肖像〜」／ギャラリーマルヒ(東京)

2018 Hiromine Nakamura solo exhibition 「Tiny spirits」／現代陶芸 釉里(福岡)

#### グループ展

2011 帰ってきたりったいぶつ展 現代作家による立体アート／Bunkamura Gallery(東京)

2018 Selected Art Fair 2018「蒐集衆商」／スパイラルガーデン(東京)

#### 受賞

2006 第1回藝大アートプラザ大賞 大賞

2008 第3回藝大アートプラザ大賞 大賞

2009 日本芸術センター第1回彫刻コンクール 審査員賞・三菱地所賞

2013 第60回日本伝統工芸展 新人賞

2014 第49回西部伝統工芸展 日本工芸会賞

2015 第50回西部伝統工芸展 福岡市長賞

2016 第3回金沢・世界工芸トリエンナーレコンペティション部門 優秀賞

2017 伝統工芸創作人形展 in 金沢 中村記念美術館賞

このたび日本橋高島屋美術画廊Xでは「中村弘峰 個展 MVP (MOST VALUABLE PRAYERS)」を開催いたします。

中村弘峰は1986年、博多人形師の4代目として福岡に生まれ、2011年に東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻を修了いたしました。以降、家業を引き継ぐと同時に、従来の概念に留まらない斬新な創作人形を発表し、第3回金沢・世界工芸トリエンナーレで優秀賞を受賞するなど伝統の世界に風穴をあける活躍を見せております。

古来より、ヒトという生物は、不老・息災といった願いや想い、祈りの気持ちを込める対象として、土偶やギリシャ彫刻、神や仏の御姿に至るまで、ヒトガタを創造してまいりました。しかし情報過多の現代においては、そのような想いはヒトガタ以外の多種多様なものに分散、転化され、一層複雑化しているように感じられます。中村は人形師として、現代における人形の在り方を読み解き、再構築しながら、人の持つ普遍的な想いを回収するかのよう、新たな創作領域を開拓し続けております。

今展では、多くの人々が英雄視し、羨望する象徴的な存在であるアスリートに着目し、形象化した作品群による空間構成に挑みます。

昨日の伝統を更新し、今日の感覚にアップデートしながら進化の中村弘峰の世界を、ぜひご堪能下さい。

高島屋美術部

# MVP

MOST VALUABLE PRAYERS

2018/11/21(水)→12/10(月)

日本橋高島屋S.C. 本館6階 美術画廊X  
東京都中央区日本橋 2-4-1  
TEL (03)3211-4111(代)  
午前10時30分～午後7時30分

美術画廊X  
ART GALLERY

高島屋美術部  
Takashimaya S.C. NIHOMBASHI

# MVP

MOST VALUABLE PRAYERS

2018.11.21 wed - 12.10 mon

日本橋高島屋S.C. 本館6階 美術画廊X





表紙. 黄金時代 / Golden Age H44cm a. 日はまた昇る / The sun also rises H37cm b. 青い龍 / Young Dragon H20cm c. AIR 不老! 金太郎 model / AIR FLOW I Battle Ax model H13cm d. 柔の児 / Sons of Judo H12cm